

認知症対応型共同生活介護 自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

法人名	株式会社サザンツリー	事業所名	グループホームサザンツリー
所在地	姫路市飾西330番地		

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	理念を、朝礼で毎朝唱和、スタッフ会議・運営推進会議で情報共有、HPに掲載し、折にふれ再確認している。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	毎日の散歩時、近隣住民へのご挨拶や軽いおしゃべり、定期的な地域の美容院の利用などで交流をしている。	推進会議メンバーである地域民生委員の方は、入居者の外出時の様子・変化を長年にわたり見守ってくださっている。		
3	運営推進会議を活かした取組	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	認知症や認知症の方への理解が深まるよう、毎回、参加者に役立てていただける内容を取り上げている。	入居者の要介護度・平均年齢等の状況を報告し、変化する認知症ケアについて情報共有している。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	包括センターの方、地域民生委員の方とは、日ごろから会話の機会を設け、話しやすい関係を構築している。	コロナ対応で、入居者・入居者家族・従業員が安心して過ごせるよう、姫路市の担当者の親身なアドバイスを活かすことができた。		

5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	スタッフ会議において、身体拘束3原則、スピーチロック、ドラッグロックなど、介護で起きやすい事例を取り上げて、拘束のないケアに取り組んでいる。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	運営推進会議内で「身体拘束ゼロ推進委員会」が開催されていて、『身体拘束に該当する行為を行わない同意書』をいただくことがあることを知った。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	身体拘束のないケアと共通する部分が多いため、スタッフ会議で、定期的に研修を実施し徹底した虐待防止につとめている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	虐待防止を会議で取り上げているかはわからないが、身体拘束と重なることがあり、取り組みをされていると思う。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	制度の内容を把握したうえで、必要な人に、適時、適切に、案内できるようにつとめている。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居契約書、重要事項説明書に記載されている事項を1時間近くかけて、丁寧に説明し、不明な点はその場で確認している。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者や家族の意見で対応が必要と思われる事例には、迅速に具体的な方法を実施するようつとめている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者家族の方とのコミュニケーションを重視していると思う。

10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	随時、個別に、月1回のスタッフ会議で出た意見を吸い上げ、必要な案件にはすぐに対応をしている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員には、年に1回の業績振り返りと自己評価を提出させるとともに、代表者は日々職員にこまめに声かけをして、悩みごとがないか聞き取りをしている。		Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議で、介護職員の方のメンタルヘルスをテーマに取り上げたことがあり、認知症の介護は精神的な負担が大きいと感じた。
12	職員を育てる取組	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員の勤続年数、経験年数、適正、目標などに応じ、無理なく個人のペースで落ち着いて働けるよう個別の配慮などを行っている。		Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	いろいろな施設に出入りするが、サザンさんは長く勤務している職員が多く、いいことだと思う。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない D. ほとんどできていない	過去3年ほどは、コロナ禍により十分な交流が行えていない。代わりに、社内研修を行って、サービスの向上に活かせるようつとめている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日ひとりひとりの利用者の表情や体の動きの変化に気を配り、できるかぎり多く個別のコミュニケーションをとるようにしている。			

15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居後も家族や友人との関係が継続できるよう、面会・電話・オンライン面会などの機会を設けている。	条件付き直接面会実施、オンライン面会で家族との交流が継続されていること、その他活動を報告している。		
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者の何気ない言葉や訴えに耳を傾け、できることに目を向けて前向きに生活できるようつとめている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	家族との面談時に情報共有を行い、モニタリング表をもとに、担当職員らが意見を出し合って、ケアプランを作成している。	地域包括センターの首席者、地域民生委員の情報や意見を介護計画に取り入れていることを伝えている。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	介護計画書の様式はわかりやすいと思う。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	個別記録には、家族が読んだときにたやすく情景が浮かぶように、記載することにつとめ、ケアプランの作成に活かされている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	認知症の方の介護で、対応が難しいことや、利用者家族様に喜ばれていることなどの事例を聞いている。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々にもまれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われなない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	個人の性格やニーズを把握し、また変化していくニーズにすぐに対応してケアの方法を修正・変更している。	介護や認知症ケアのあり方、ニーズが変化していることを伝え、可能なことには素早く対応していることを伝えた。		

20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍で、地域のイベントに出かける機会がなくなっていたが、毎日のように散歩に出かけて近隣の方に見守っていただいている。	コロナ禍で取り組んでいた地域での毎日の生活の様子を伝えており、出席者の方も入居者の様子を見守ってくださっている。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居前から利用している医療機関や訪問診療の継続ができる。往診利用者は職員が立ち会い、適切な治療が受けられるよう支援している。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	各医療機関の医師や看護師と密に連絡をとり、利用者が適切な治療を受けられるよう情報提供書の作成等さまざまな支援を行っている。		Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	具体的なことはわからないが、ときどき、入退院があったときのいきさつを報告していただいている。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	令和4年末に重度化した方がおり、家族の意向を聞き取ったうえで、終末期医療の体制が整ったので、看取りをすることができた。		A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	看取り体制が整って、サザンで亡くなられた方の話を聞いた。実際には、特養でも看取りが困難なこともあるのでいい例だと思う。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	体調急変時にどう行動するかマニュアルに従って、あわてずに救急車を呼び、家族に連絡するよう訓練している。			

25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	災害の種類に応じて、どのように対応すべきかマニュアルに従って行動できるよう訓練している。	災害時の避難方法や避難先について情報共有している。地域住民との合同訓練ができればいいという提案もあった。	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	避難訓練を実施していることは知っている。地域の方との合同訓練ができればいいと思う。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	基本理念に「尊厳を忘れない」を掲げ、声かけや支援の方法について配慮しながらサービスを提供している。		A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	基本理念にあるような対応をされていると思うが、適切でない声かけがないわけではない。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員のペースにならないよう、いつも利用者のペース、目線に合わせてゆったり落ち着いて行動するように繰り返し研修している。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	調理の手伝いが好きな方には積極的に参加していただき、役に立ったという達成感のある楽しい時間になるようつとめている。		Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員と利用者が食事を作ることを継続している、食事を楽しめていると思う。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事量・水分量を毎日記録しており、十分な摂取量が確保できない利用者には、個別の方法で栄養を摂取できるようつとめている。			

30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	口腔ケアが苦手な利用者には、側で見守り確実に口腔ケアを行ったり、必要な方には訪問歯科の治療を勧められている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	口腔ケアを十分にでききれない人が多いと聞いている。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	排泄に失敗しがちな方のパターンを見極め、早めにトイレ誘導を行っている。紙パンツは適切に使用し、清潔保持に役立っている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	排泄ができなくなる人のお話を聞くことがある。自分では排泄の世話ができないと思うので感謝の気持ちが大きい。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入浴が苦手な方は、順番だからと無理に誘導せず、入浴したい気分になるような声かけをしたり、別の日に変更している。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	眠れない方を無理に居室に誘導せず、落ち着いて眠くなるまで、リビングで静かにお話を聞くなどしている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	服薬管理表を確認し、最後まで服用したかを2名の職員が確認しながら服薬支援を行っている。薬の目的を把握していない職員もいるので、その点の改善を図りたい。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	多種類の薬を服用している人がいて、なるべく増えないように連携しておられる。

35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	できないことではなく、できる家事、楽しめるレクを見極めた上で、それらを継続できるよう、支援をしている。	出席者の方には、家事療法やできることにフォーカスする支援を、皆さまに共有して下さるようお願いしている。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	外出が可能な方の、歩行距離、ペースに応じて、毎日散歩にお連れしている。近くに買い物やお花見、紅葉狩り、ピクニックにも出かけている。	半径数百メートル程度であっても、なるべく戸外に出て空気を吸って季節感を味わっていただくケアをしていることをお伝えしている。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり、使えるようしたりできるよう支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	買い物に出かける機会は非常に少ないが、日用品を購入したい方には、近所のドラッグストアに職員が付き添って行う。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙をやり取りしたりできるように支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	家族からの手紙、電話、オンライン面会など、可能なコミュニケーションがとれるよう支援している。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	居室は、お好きな写真や絵、家具などを設置していただいている。皆が過ごすリビングには、季節感のあるディスプレイを行い、季節の移り変わりを感ぜられるようにしている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	建物の周りがきれいに掃除されている。玄関のスペースも片付いている。	

IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)

40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日の生活で利用者が発するふとした言葉や会話の中で引き出されたことに職員が寄り添っている。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時に収集したプロフィールや生活歴、利用していた施設の情報提供書をしっかりと読み込み、ケアに最大限活かすようにしている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の希望を基本として、職員が観察したことや本当に必要な支援は何かを見極めて、ケアを行っている。		A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の気持ちに寄り添っていると思うが、コロナ禍で面会できないことに不満がある人もいたと聞いた。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人に意欲があり、体調が続く限り、これまでの習慣をそのまま継続した生活を送っている。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人が見ている落ち着いた、なじみのある持ち物を持ち込むことができる。		Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ふつうのお宅の部屋のように心地のよい空間にされている方がおられる。

45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人は、希望する外出、診察、美容院などに出かけることができている。	特別レクでの外出、必要な診察などで、外出の機会があることをお伝えしている。		
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人ができること、できないことを見極め、変化したことを見逃さず、可能な役割を果たすことができている。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	楽しい会話の時間、笑顔になれるレクリエーションの時間、おいしい食事の時間を提供している。		Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	できないことよりできることに目を向けるよう指導されている。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日の散歩では、近隣のなじみの方から声をかけもらい、野菜や花をいただくなどの交流がある。	入居者から積極的にかかわりを持つことは難しいが、近隣の方の見守りにより、交流できていることを伝えている。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人暮らしの自宅などでは会話のない生活であった方が、再び社会性のある生活を送ることができている。	会話や活動の少ない生活は、認知症の進行につながりやすいことを伝え、グループホームでのメリットをご理解いただけている。	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員さんには本当に大変だと思うので、サザンでお世話になって、感謝している。